

刊夕6三月五

常警每日新聞

定価一冊五銭五分 一月五拾五銭 郵費別
 廣告料五銭 十二字以下一銭五分 五拾五銭
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社

新貨幣論 (一)

金のいらぬ極楽國土建設案

神木 鷗 津

一、黄金の正体吟味
 政治とは經濟を中心とする國民生活を安定せしむべき舵であり、政治家はその良き舵手であるべき筈だが、現下の國民生活は果して如何。

金本位制の現行制度では黄金を以て正貨となし、その他は補助貨幣であるが、正貨の準備が紙幣は一片の紙片に過ぎない。

黄金は打てば美しい響きを立てる冷たく光るだけの固形物で、加工して装身具となることくらゐより外に、必要な贅澤品であつて、固より人間衣食住の必需品ではない。黄金はなくとも人間は立派に生きてゆけるにも拘らず、これが正貨準備金たる制度のもとに置かれてゐるばかりに、萬人より神の如くに崇拜され、その金がないために一家離散親子心中、大にしては國家的にも破産の悲鳴を擧げつゝある。

初め人間生活の餘剰交換を圓滑にすべく立てられた幣制は、今や主客顛倒して國も人も黄金のために驅使せられ、殆んどその奴隷たるに近い。金それ自体が妖魔でないとするれば、その制度に矛盾があるのではないか。金のために苦しむつゝある各國人は、人間生活の本然に還り、今にしてその根本の正体を見直す必要がある。

二、金本位制の考察
 今は通貨としての使命を有するに拘らず、事實は流通せずして常に一方に偏在し、世界各國の國庫の裡だけを経めぐつてゐる。この故にその半面に於ては、世を擧げて失業の巷と化し、物資の山積を眺めつゝ、金なきばかりに餓えねばならぬ。物資がなくて困つてゐるのではない。寧ろ反對に機械工業の發達と大量生産に伴ふ物資の過剰に悩み消費してくる吐け場がないので破産に傾するものがある。

【朝】なめもの一てつかみ
 【晝】焼肴一鮮魚鹽焼き
 【晩】にしめくわのこんにやく

城警 共濟病院案内
 院長 醫學博士 石山謙
 内科 醫學博士 石山謙
 小兒科 醫學博士 佐久間重
 外科 醫學博士 桂馬重
 喉科 醫學士 有馬雄二
 皮膚科 醫學士 五十嵐雄
 産婦人科 醫學士 佐久間重
 X光線科 醫學博士 石山謙
 衛生試驗所 技師 石山謙
 藥局 技師 石山謙
 診療時刻 午前八時より午後五時迄
 但急患は此の限りに非ず
 平町 磐城共濟會
 電話六四一

改稱御知らせ
 新藤屋(別館)改め
 鐵道省御指定
 旅館 甲陽館
 店主 武田コウ
 平町 曙前電話一四八番

耳鼻咽喉科専門
 大和田醫院
 平町南町
 電話一〇七

科人婦・科外
 院醫坂井
 町田町平
 番九五五話電

春のトレンチコート 7.50ヨリ
 春のバアバリー 3.00ヨリ
 春の正札堂特製トンビ 8.50ヨリ 18.00マダ
 春の紺セルネツミセル外套 4.50ヨリ
 春の三ツ組セビロ 7.50ヨリ
 平四丁目停車場通り
 正札堂
 電四三六番

高久病院
 院長 醫學士 高久忠
 副院長 新瀉醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町 電話五一三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

久益屋商店
 磐城セメント會社特約店
 磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久の生命なり

専門 内科一般
 宅診 内科は何でも診療致します
 往診 呼吸器病ばかりではありません
 平町南町六五
 川井内科診療所
 醫學士 川井重之
 女醫 川井安子

縣下町村長會長に

青沼氏當選

平館に美妓總出演

けふ町村長會第二日目は

縣下町村長會議第二日目は本日午前十時より平館第三小學校に於て開催委員附託となつた

協議案の報告あり安

積郡提出の市町村義務教育費國庫負擔に關する件を否決し伊達郡提出の地方行政上中間機關(郡役所又は支廳)設置反對を

保留した 以外を全部

可決役員選舉に移り湊三春町長外十七名の詮衡委員が選舉の結果會長は十二票青沼平町長四票今野八幡村長一票木村大野村長の順位に

優勝全獲を目標に

平第一小學校練習に汗みどろ

平第一小學校にては来る五日舉行される郡下各小學校對抗八百米リレーを最初とし續いてドッチボール大會競技大會、バスケットボール大會、野球大會、庭球大會が開催されるので優勝全獲すべく猛練習を行ふ事になつたが各部のコーチア指導は左の如くである

政(ボールスロー)上川 瓜田 大谷 中村(ドッチボール)大和田 上川 瓜田 根本菊 横田 根本 佐藤 大谷 古川 鈴木 水竹 松本政 力丸(バスケットボール)松本政 松本正 古川 佐藤 根本榮(野球)上川 根本榮(庭球)松本政 佐藤

小名濱の農會 石城郡小名濱町農會では昨日午後一時より町役場内に於いて總代會を開き八年度豫算並に本年度事業等を協議した

託兒講習

植田に開催

石城郡下に於ける農繁期託兒事業講習會は来る十一日午前八時半より植田町小學

豊間村議總辭職

改選期が鯉漁期なので

期日を繰上げる

同 鶴沼 忠美 二七 志賀 直哉

兒童對校リレー

磐中運動會の呼び物

参加チーム十二校

既報来る五日磐中運動會に於て舉行される郡下各學校兒童對校八百米リレーの申込み校は平第一、同第三、内郷第二、同第三、同尋高勿來、高久、大浦、小名、豊間、草野、好間の十二校で當日は四チーム宛三回互り豫選を行ひ最後に各一着四チームの快勝に移るが審判員は名尾、橋本、高清水、大橋、渡邊、大村、鈴木、下平、樋口、下山田、芝崎、大淵、青天目の各磐中教諭にて昨年の優勝チームは好間校であつたと

鹿島の村議

村議

當選者氏名

既報石城郡鹿島村の村議選舉は昨日執行されたが定員十二名に對し立候補者一名超過し開票の結果總投票數三百六十九無効六あり左記十二氏が當選

同 四家 重雄 二六 箱崎 弘之 二四 江尻 中 次点 佐藤 善多

出馬の交渉開始

三丁目と十六區

平町三丁目にては柏原幸次郎氏、十六區(仲間町其他)にては佐々木龍若氏を夫々昨夜の豫選會で町議候補適任者とし目下出馬を徳徳中である

産業組合宣傳映畫

郡内各村開催日割

既報石城産業組合部會の組合事業宣傳映畫會は左記日割にて催される事に決定した

六日大野 七日豊間 八日玉川 九、十日赤井 十一日好間

矢野校長出張 平商

業學校長矢野泰次郎氏は来る十日若松市に於て開かれる縣下實業學校校長會及び十七日東京商科大学一ツ橋講堂に於て開かれる全國實業學校長會に出席すると

産業組合總會開く

諸案件協議

石城産業組合部會では来る五日午前十時より田町組合

田 井上 吉成 大谷 (二組)坂内キ 上川 松本正 中村 鈴木 古川 (三組)玉手 坂内 松崎 松本政 力丸 石山 (四組)平塚 瓜田 根本 榮 仲村 根本菊 齊藤 (五組)樋口 丹野 水竹 佐藤 武藤 曾我

平町人事

回 婚 姻

△新川町四 當時函館市大黒町九丹野徳松氏(二四) 秋田縣由利郡子吉村宇野添六九水戸部イシ(二二) 回 死 亡 △白銀町四二 水野善行 (二二)

會葬御禮

昭和八年五月三日

石城郡神谷村鹽 嗣 子 中 野 一 郎 外 親 戚 一 同

記念植樹

平商學校生

平商業學業在學生一同は來

籠球練習

校長指揮で

平第一小學校職員一同は毎週水曜日を期し曾我校長指揮の下に左記チームに分れバスケットボールの練習を行ふと

(一組)黒木 大和田 横

巷に溢る

失業群

窮餘内郷村が

匡救事業企圖

石城郡内郷村には現在炭礦方面其他に千五百餘名の失業者が溢れて居るので村當局でも是れが對策に腐心し各種土木事業を起す事となり今回左の如き總額七萬四千五百圓の匡救事業の許可

補装道路の前提

下水堀設計

平町本町道りに

土木監督所が急ぐ

平土木監督所では目下平町本町通り補装工事の前提として本月末より工費二萬四千餘圓で着工される本町通兩側の下水溝開整工事設計中である

素晴らしい幸運の

富籤をひき當てた

小田部氏の送別會

平署が生んだ最初の警視

昨報平警察署長から若松署長警視に榮轉した小田部秀雄氏は來五日前午十一時十八分

に於いて官民合同の送別會を催すと因氏氏は明治四十三年本縣巡査を拜命し若松三春

兩署を経て大正七年

三月警部補に昇任、警察部警務課、警官練習所、若松署等に勤務し、同十年八月警部に起用され居座りの儘若松署主席となり保安課に轉じ十五年八月刑事課長に抜てきされ名刑事課長の

賞揚を博し昭和四年

八月中村署長に轉勤、白河喜多方兩署長を歴任、今年一月現在の平警察署長に榮轉今日に至つた四十六歳の働き盛りで今回の幸運な富籤を引き當てたのであり且つ平署からの警視昇進は

同氏が、初めての事で

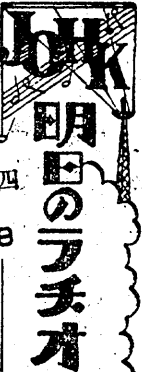
あるから前記送別會は盛會を豫想される

十九の少年

大金を窃取

鎌田遊廓で捕る

石城郡鹿島村字白取精米業鶴沼博方に去月廿五夜忍び入り現金百五十圓を窃取せる犯人あり平署で嚴探中の處昨日午後十時頃鎌田遊廓附近で大金を所持する少年を平署員が怪んで取調ると山形縣東村山郡奈良澤村生れ住所不定三戸部虎吉(九)假名で窃取した金の使ひ残り八十餘圓あり目下餘罪取調中である



今夜は南東の風強く明日は北西の風強く晴れたり曇たり

今晚の部

後六〇〇 子供の時間
管絃樂 大阪ラジオオーケストラ 指揮 福喜多鎮雄
後六、二五〇 ことばの講座
玉井幸雄

震源地は

小名濱沖合

昨日午前十一時十九分に石城地方一帯に起つた地震は小名濱沖合が調査の結果震動四分間震幅五十ミクロンに亘るもので震源地は小名濱沖合であると

成績品の出陳に

優秀兒を選抜

平町各小學校にては來る五日警中講堂に於て開催される郡下各小學校兒童成績品展覽會に出品すべく各係訓導指導の下に習練中であつたが本日各校の出品兒童を左の如く決定した

△第一小學校
(五年)隈川仁治 青木肇 稻島正 小川芳勝 鈴木將夫(六年)小坂隆通 藁谷公義 吉田光弘 星野剛 神山勝伯

△第二小學校
(五年)廣澤トキ 飯塚サト 根本ツネ 端山多賀子 高橋澄子(六年)桐谷ツネ 石山小夜子 菅野フミ子 本多サタ 近藤シツエ

△第三小學校
(五年)瀧口勝次 志賀賢祐 松崎惣兵衛 三森邦子 張文字(六年)諸橋富彌 平野井啓造 荒四郎 井上和子 鈴木光子

通話停止

二十六名

平郵便局の本年度第一期分電話使用料納付期日は去る卅日迄であつたが祭日や日曜日迄で昨日迄延期され昨日締切つた結果加入者六百八十八名の内通話停止の處分を受けた者廿六名である

苦心逮捕の功に

知事から金一封

平署の安藤刑事部長は過般傷害犯人三井菊造を苦心逮捕せる功により本日赤木知事より捕賊賞與として金一封を贈られた

江名青年修養 石城郡江名町青年團では五日午後一時より同町小學校に於いて役員會を開き精神修養

後八、五〇 連續ラヂオドラマ「ジャンヴァル」
友田恭助外
後九、三〇 時差 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

後七、三〇 (講演) 京都大名譽教授法學博士竹田省
後八、〇〇 (端唄) 南地方松觀櫻會狀況 秋田市千秋公園觀櫻會々場より中継
後八、三〇 管絃樂 高峰バンド 指揮 峰筑風

磐女口腔検査

磐城高等女學校にては本日全校生の口腔検査を行つた

平職業紹介所報告

求人を求める方
△綿打工 二十五才 尋卒
△月十五圓(小名濱町某)
△藥局見習 十六才 高卒
△給料面談(平町某醫院)
△小店員 十七才 尋卒
△仕着小遣(平町某)
△農夫 四十迄 月四圓外
面談(夏井村某)
回職を求める方
△土工 三十二才 高卒
△給料面談(飯野村某)
△工場雜夫 十七才 高卒
△給料面談(相馬郡某)
△事務員 二十一才 中卒
△給料面談(大浦村某)
△車力 二十一才 高卒
△給料面談(玉川村某)
△自動車助手 十六才 高卒
△給料面談(内郷村某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫

第三百二十八號 佐々木見山

美少年の助太刀

三社の神主は佐々木見山に對ひ

神「何う云ふことから喧嘩になつたかそれは存じませぬが、此處で血を流されては甚だ迷惑いたします、御覽の通り西の方には觀音様の御堂がございます、東には三社が祀つてあります、其の前を血で汚す事になりますと、佛様と神様の御罰が一時に當りまして私共が迷惑いたします。何卒他の場所へ生るとも死ぬ共致して頂きたいものでございませぬ」

佐「成程是は貴公の申す處道理至極、コレ〜巾着切り」

○「何だ、巾着切とは、人聞きが惡いヤイ」

佐「それでは泥棒か、六ヶ敷男せば鼠賊か、貴様達も聞く通り此處は宮寺のある地で喧嘩をいたして血を流すは神佛への恐れ、依つて他の土地で死ぬとも生きるとも致せと慫う申して居る何うだ場所を代へるか」

○「何うだ神主様が此處で喧嘩をしては困ると云ふんだ」
△「ソレでは場所を變へろ」

田圃が宜かろう、ではサンピン田圃に出かけろ」

佐「宜し心得た、田圃とやらへ參るであらう」

○「逃げるなサンピン」
佐「控へろ」



巾着切……

佐々木見山はニヤ〜〜笑ひながら巾着切りに取り巻かれて觀世音の北にある田圃を指して參る、サア侍と巾着切の喧嘩と聞き江戸名物の彌次馬がゾロ〜尾い

て行く、其の時に人を押し分けて佐々木の傍へ來た

十六七になる美少年、大小を佩してゐる處を見ると武家に違ひない

少「貴下に御願ひ申すことがございます」

と云はれて佐々木は其少年を見たが

佐「何んだ其の願ひと云ふは」

少「貴下は此の巾着切り共多勢を相手に決闘をなさいすか」

佐「左様はたしあひと申す程大仰なこともないがこれを幸ひに巾着切をみな殺

佐「ハテ妙な事を聞くものだな、貴公は巾着切に恨を受けたことがあるか」

少「イエそんな事はございませぬ、私はまだ人を斬つたことがありません、何卒この刀の切れ味を試めさして頂きたいものでございませぬ」

佐「宜しい、拙者と共に巾着切を斬つて刀の利鈍をこそろみるがよからう」

少「それは有難いことでございませぬ」

佐「一應この事を賊共に申し聞けて置く、扱泥棒此處へ俺の助太刀が出た、見ろよ此少年を、これはナ、まだ人を斬つたことがない、従つて刀の切れ味も判らな

い、そこで俺と共にお前方を斬つて見たいと慫う云ふ何うだ、此の事を承知するか」

巾着切は顔と顔を見合して

○「妙な小僧が出て來たぜ俺たちを斬つて腕試しをするよ」

○「生いきな小僧だ、ヤイ奴」

少「黙れ小僧とは誰のことを指して申すか俺は侍だ」

○「然うだな、長い刀を一本と半分佩して居れば形は侍だ、俺達を斬つて刀の切れ味を試めたいとは大層なこと云ふ奴だ、此の大きな侍と共に汝ものしてやる覺悟しろ」

少「ウム俺は貴様達を斬つてくれる、あゝ日頃の願ひに成して此奴らを斬ることになつたか、これは忝

けない」

と刀を頂いた、きん着切は驚いて揃ひも揃つて變つた奴ばかりあると思つた。

これから田圃へ出て來た時に佐々木見山は刀の下げ緒を取つて襷となし、濃淺黄の手拭にて鉢巻をなし、袴の股立を取り上げ傍に控へた少年に對し

佐「宜しいかな、徐々奴等を斬りますぞ」

少「心得ました」

とこれも仕度をしてヤツと云ふと一刀を引き抜いた、きん着切りは多勢を頼みに竹杖または棒を持つて左右から打つてかゝる、物々し

やと佐々木見山が少年と二人で躍りかゝり刀のみねにてピン〜と打ち倒す

其の早いことピカリと光るとパツタリ倒れる、少年は刀を揮つて當るを幸ひ斬つて廻る。

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

愈々お待ち兼ねの新車!!!

三三 年型 スペツシヤル・セダン

が到着致しました何卒舊に倍し御愛顧の程御願ひ致します

高級貸切

不二タクシー

電話 32

【助手入用】

鹽豚
肉蒲鉾

田町 三三三三屋

木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話三〇九番

お醤油は ヤマフル

醤油味噌

たひら 正宗

鯉節 食料品



山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部)醸造工場
明治生命(城代理店) 山崎與三郎